

平成 29 年 12 月 19 日

南 砺 市 長
田 中 幹 夫 殿

平成 29 年度要望書

景気の回復感が報じられ、いざなぎ景気を抜き、戦後第 2 位の景気拡大につながったとも論じられている我が国経済ではありますが、国内市場の縮小や人手不足による生産性向上策について、その対応に苦慮しているのが中小企業者、小規模事業者の実態であります。

デフレからの脱却は正に道半ばであり、その回復感を地方経済まで実感出来る政策が待たれる昨今でもあります。

このような経営環境の中、地域経済団体である商工会は、きめ細かな支援を講じ、会員企業の経営課題に真摯に取り組み、事業の持続的発展を図るべき、会員に寄り添った伴走型支援を展開しております。国、県そして市の施策を柔軟に活用しながら、地域経済の確かな好循環を図ることに注力してまいりました。ここに要望いたす事項につきましては、市並びに関係機関との緊密な連携が必要な案件ばかりであります。このことについて、今一度地域の商工業者の声としてお汲み取りいただき、その支援方に格段の御理解と御協力を賜りますよう、下記の通り要望いたします。

南 砺 市 商 工 会
会 長 花 島 榮 一



1. 小規模企業対策事業における財源の確保

◆商工会経営改善普及事業予算の確保へ支援（継続） H29-056-001 商工課 商工係

地域経済が低迷する中において、一貫して中小企業を支援し、とりわけ平成 24 年 6 月の小規模企業振興基本法施行後は地域小規模事業者の持続的発展に心血を注ぎ、会員企業に寄り添った伴走型支援を展開しているのが商工会です。小規模事業者の元気こそが地方創生の最たるものであると考えております。

しかしながら、昨今の財政支援については、個別事業のみならず、小規模事業者の多種多様に渡る経営課題の解決を図り、地域の振興・発展に期する経営改善普及事業にも厳しい予算措置を講じられてきています。この経営改善普及事業は小規模事業者の経営基盤の安定・強化には必要不可欠なものであり、その削減についてはその根幹を揺るがすことにつながります。商工会は今後も地域創生の重要な担い手として、地域経済の活性化に尽力する経済団体です。その安定的な確保をここに要望するものであります。



2. 産業振興における活性化策について

◆南砺市商工会館用地取得並びに賃借料の継続支援（継続） H29-056-002 商工課 商工係

このことについては、従来より要望をいたしており、昨年度中に用地検討特別委員会も設置し、不動産鑑定士にも再度鑑定をお願いしました。そのことを踏まえ地権者との交渉のテーブルに着いたところですが、用地の交渉を進めた結果、1名の方については前向きに進めてほしいと返事をいただき、他の2名の地権者については売却の意思はないという結果となりました。以上の状況を鑑み、本商工会役員会にも諮り、又用地検討特別委員会においても今後の進め方について協議をいたしました。

今後については売却に応じていただける地権者については、その買収作業を丁寧に進め、又応じていただけなかった2名の地権者については、今後も慎重に交渉は続けるものの、現在の相場価格に見合った賃借料の引き下げ要請を並行して進めて行かなくてはなりません。よって、取得における現況を御理解賜り、用地取得に応じていただける地権者への用地取得価格への購入支援及び交渉成立までの用地賃借料への補助支援について、格段の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

H29-056-003 商工課 商工係

◆都市計画道路谷今町線の整備に合せた多目的広場の整備支援について（継続）

平成18年に商業施設「よいとこ井波」が完成し、商工会井波事務所も当初より入居しております。当時から中心市街地活性化拠点施設として、「多目的に使用できる広場や駐車場設備」が必要とされていました。又、最近は井波地域自治振興会や八日町町内会からも多目的広場の整備が強く求められている昨今です。

現在、都市計画道路谷今町線の整備が急ピッチで進められておりますが、道路整備計画に合わせ「よいとこ井波」に隣接する個人所有の空き地（南砺市北川1845）を利用した「多目的広場の整備」が急務となってきています。

多目的広場の整備は「よいとこ井波」と一体性を持ち、観光客や住民に憩いの場を提供し、まちなかの賑わいづくりはもとより、中心市街地の活性化につながることでありますので、格段のご支援をお願い申し上げます。

H29-056-004 商工課 商工係

◆南砺市中小企業・小規模事業者振興基本条例の今後の取り組みについて（新規）

南砺市においては、県下にさきがけて平成27年に南砺市中小企業・小規模事業者振興基本条例を制定いただき、各種商工施策を策定し、その持続的発展並びに中小企業・小規模事業者の振興に大いに寄与していただいたところです。

しかしながら、ここに来て長引くデフレ経済、個人消費の不振等により、中心市街地の経営基盤が大きく揺らいできており、市内の商店街等は大変厳しい経営環境下にあります。又市外大型店の出店による影響も拍車をかけているのは、否めないところです。市外大型店の出店は消費者の利便性の向上や、消費者保護の観点からは異論を挟むものではありません。

んが、商工会への加入並びに各種事業への協力姿勢が希薄なのが実態です。

商工会事業及びイベントは地域振興の最たるものであり、集客効果も大なるものがあります。その恩恵を最も受ける市外大型店が負担や協力もせず、その恩恵に浴するの、条例の主旨に反するものであり、持続可能なまちづくりを進める為、商工会への加入促進と地域振興への一層の連携を要望するものであります。

◆人手不足への対応と地域産業の担い手の確保について（新規） **H29-056-005 商工課 商工係**

管内企業の人手不足は、幅広い業種に及び、人の集まらない状況が続いております。既存の労働力では、今後の受注対応に支障が生じることも近い将来予想されることとなりました。このことは中小企業・小規模事業者を多く抱える当地域においては、地域の雇用基盤を根底から揺るがすことにつながってきます。労働生産性を低下させないことや業務の効率アップを図る為、生産性向上策や技能の向上策を講ずるものの、生産ラインに携わる人の確保が喫緊の課題となります。このような憂慮すべき実態を考慮いただき、市としても地域産業の担い手の確保そして、女性の就労支援も含めた、総合的な支援策を講じていただきますようお願い申し上げます。

◆城端 SA・スマート IC 供用開始による市内誘導と周辺施設の活性化について（新規）

本年 7 月にスマート IC の新設候補として城端 SA が選定されました。**H29-056-006 商工課 商工係**
このことにより準備会が発足され、管理運営方法等がまとめられ、地区協議会で実施計画が策定されることとなりました。19 年度の供用開始となれば南砺市内では、五箇山、福光の両 IC と南砺スマート IC と合せ、4 力所となります。このことにより、今後の産業振興や物流の効率化、そして観光振興等、市内経済の発展に一層期待感が高まってきたところです。今後は桜ヶ池周辺施設の魅力度を上げ、その施設利用や来街者増を図る仕掛けが必要となってきました。この流れを中心市街地、そして南砺市一円に取り込むことが、南砺市の元気につながってきます。南砺スマートインターの利活用も含め、スマートインターの利用者の市内への誘導、そして観光ルートの確立をはじめとする、まちなか活性化策を講じることが急務となってきた今、中心市街地の賑わいづくりに、引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。

◆市総合戦略における「なんとポイント事業」の早期導入（新規） **H29-056-007 地方創生推進課 地方創生係**

ボランティア活動や地域包括ケアネット活動、安全安心見回り活動、環境美化活動、雪かきなど共助や互助といった活動の参加に対する報酬として、市内共通商品券と交換できるポイント制を導入すると総合戦略ではうたっておりますが、3 年目の今年になっても「なんとポイント事業」については未だ進捗がみられない状況となっております。

この事業は、活動者、共助・互助を受ける側、地域商業者など、地域全体が良くなる事業であり、地域内循環を生み出すきっかけ作りにもなると考えられます。ゆえに、一日も

早く事業実施へ向けてのアクションを起こしていただきますようよろしくお願い致しますと共に、事業企画立案につきましては、実際事業に携わってまいります地元商業者も企画に参画させていただきますよう重ねてお願い申し上げます。

3. 観光振興策への支援強化

H29-056-008

交流観光まちづくり課 交流観光係
文化世界遺産課 文化振興係

◆伝統的祭り及び地域イベントの継承発展への支援（継続）

南砺市は四季を通じて、歴史や文化に由来した多くの伝統的祭りや多彩なイベントを展開し、訪れた人々を魅了しております。先人たちが築いてきた伝統と誇りをしっかりと継承し、後世につなげるべく、文字通り地域総動員で祭り文化を担ってきております。

しかしながら、近年の人的不足、補助金等の削減等、大変厳しい運営を余儀なくされているのも事実です。地域住民の要望は年々多方面に渡ってくるものの、限られた財源の中ではそのニーズに応えきれない状況となってきました。市の財政状況の厳しさも理解しているところですが、これ以上の削減は伝統的な祭りを維持して行くには限界です。伝統こそ正に地域の大きな財産であり、資源であります。そこに人々が共感し、祭りの奥の深さにつながっていると思っています。

今後も商工会は引き続きその内外に誇る祭り、イベントの最前線の役割を担って行く所存であります。今後の財政的な支援に今一度格段の御理解を賜りますようお願い申し上げます。

H29-056-009 地方創生推進課 地方創生係・交通政策係
農林課、商工課、観光課

◆多様な自然を活かしたギフト開発や体験旅行受入への支援（新規）

都市との交流活動を早くから進めてきた山間地の利賀村地域は、森林の中にあることから都会の若者が、そこにある食品資源の価値を評価し、売り出すことを企画実施しています。時代は地域の本物の素材や技術をいかに見だし、付加価値をつけて、消費者に届けるかが重要となっています。幸いにも、都市部の大学生が利賀に通い、ここでの体験や調査と商品開発を通して地域資源の宣伝活動を行っていますので、これらを継続発展するための支援をお願いします。

また、武蔵野市等の子どもが長期の「宿泊体験事業」で訪れていることで、利賀での体験が教育環境として優れていると認められ、修学旅行等の増加が見込まれています。

地域の豊かな資源や食材、伝統文化など中山間地域の特色ある資源をオリジナル体験プログラムとして訪れた都市住民に提供するなどの、都市との交流事業を続けて、地域振興を図っていくためには交通機関の確保や宿泊先の確保が求められていますので、この受入体制整備への支援をお願いします。

◆JR 城端駅を起点とする活性化策の推進及び周辺施設の充実（新規）

「駅」は、観光振興並びに公共交通施策において重要な役割を成すものです。市内の主要駅も同様であり、特に JR 城端駅は広域観光の拠点を担うハブ駅として期待されています。

本年、南砺市には JR 城端駅（3 つの主要駅共通）に Free-Wi-Fi を整備いただいたところです。また、現在は駅前ロータリーの改修工事がスタートしており、将来には駅舎改修の計画があると聞いております。城端地域では、この JR 城端駅の整備計画による観光振興に期待しています。ついては、駅舎はもちろんのこと、「利用者が満足する機能」を念頭に、バス停の新設や「まちの顔」でもある既設トイレの改修など、周辺施設を含めた総合的な整備に取り組みをいただきますようお願い申し上げます。

また、城端地域では観光列車「べるもんた」の運行が一つの契機となり、イベント会場として駅周辺の活用が広がっています。JR 城端駅が整備される折、同駅が起点となる事業創出や施策充実に取り組みをいただきますよう併せてお願い申し上げます。